

【2002年度】福祉社会学部卒業論文題目一覧

学生氏名	論文題目
青木 哲幹	日本における男女の経済格差の縮小を実現させる社会システムづくり
新井 美紀	高齢者の在宅生活に対する効果的支援の研究——ケア・マネジメントアプローチからの展開——
安東 秀訓	年金積立金運用の方向性
井口佳代子	介護保険下での高齢者居宅生活支援
石井 友子	日本におけるワークシェアリングの可能性
岩本 竜一	医療ソーシャルワーカーの効果的支援に関する一考察——急性期医療の現場での検討を通して——
上田 薫	今日の生涯にわたる職業能力の開発について——生きがい・働きがいの創造——
上道 真由	家族関係に起因する摂食障害をもつ人への支援の分析——家族支援の視点から——
上柳 恵子	住民による主体的な地域福祉活動に必要な条件——その担い手と活動展開の土壌についての考察——
浦元 愛	住民による自発的・継続的地域活動の原動力
大槻 燃湖	日本の金融改革の処方箋
小幡 陽子	知的障害者のイメージに対する接触体験の影響
金子 優子	定年退職後の自由な就労選択の実現可能性
神谷 綾子	「パートナーシップ」の形成条件——京都市内の住民組織を事例として——
川邊 真希	子どもの発達と絵本——ブルーナ作品の特徴とその意味——
北村 周子	地域通貨の有効性に関する考察
木村 泰映	名前は人の性格に影響するか？——姓名判断の信じられやすさについて——
樹山 隼子	豊かさを実感できる社会資本整備のあり方に関する一考察
吉良 克也	初発型非行と規範意識の低下の考察
国沢 有記	児童虐待への介入問題と支援課題の一考察——児童虐待防止法との関わりから——
國森 裕未	男女共同参画社会と男性の育児参加に関する一考察
越野奈津美	持続可能な地域発展に関する一考察——長野県下伊那郡阿智村を事例として——
齋藤 祐子	地方分権と条例制定の可能性——まちづくり条例の事例から——
阪井 万記	少年非行に対する保護観察
坂口 由佳	育児休業制度についての考察——男性の育児参加への課題——
嶋林 理恵	摂食障害におけるソーシャルワーク支援の意義——ソーシャルワーカーの役割を中心に——
清水 望	国民年金第三号被保険者問題に関する考察
末友 潤子	特養ホームにおける高齢者のターミナルケア
曾根 崇文	ラベリング論に関する一考察
高田 郷子	過疎地域における住民の暮らしと自治体のあり方に関する検討

学生氏名	論文題目
高野 治子	知的障害者の就労支援——ジョブコーチ支援事業の意義と可能性——
高橋和歌子	「在日外国人」の学習権保障——地域における日本語学習支援活動のあり方を考える——
財田 弥生	インターネットコミュニケーションが対人関係に及ぼす影響——Eメールを中心に——
武田 寿美	子育て支援としての家庭的保育に関する一考察
田和由季子	大学生におけるヘルスリスク行動——刺激欲求との関連性について——
千嶋美由紀	ワークシェアリングと社会保障——オランダモデルと日本での対応——
土井美智留	児童文学作家アリソン・アトリー——その魅力と現代における意義——
徳安 千香	市町村合併と小規模自治体のまちづくり
長岡万里子	野宿生活者問題についての考察
仲間美由紀	在宅要介護高齢者への社会的支援
西岡 美緒	京都市内駅舎におけるバリアフリー化の現状と課題
二宮 悠奈	介護保険制度がどの程度在宅介護実現にどの程度貢献しているか
野尻 美幸	高齢者支援体制におけるNPOの役割と課題
日比 優子	高齢者世帯の貧困と生活問題
深谷 順子	日本のボランティアにおける「奉仕」イメージについて
福田 聖子	学童保育が地域の教育力形成に果たす役割
福元 彩	文字および絵における色の再認記憶
藤林 由梨	現代若者のいまだく伝統産業のイメージと就業意識
藤本 真由	介護予防と高齢期の「豊かな生活」に関する一考察——長野県下の高齢者の暮らしに着目して——
藤本真由美	診療情報提供についての考察——患者主体の医療を目指して——
船木 直	東南アジアのさらなる発展
古川 久美	母子家庭の生活困難克服のために
前羽 良美	学校5日制の現状と課題——子どもたちの「ゆとり」を守るために——
松下 綾	現代社会と宗教現象——日本人と宗教の関わり——
宮井 祐二	虐待防止における（主任）児童委員の役割
宮田 悠美	個人空間と教室での着席位置
村田 知洋	行政評価が地方自治体において果たす機能
安田 静	ひとり親家庭への公的支援に関する一考察
矢野光樹子	在宅高齢者のサービス活用と生活の質に関する一考察——健康すこやか学級とデイ銭湯の事例を通じて——
横田 悠貴	社会的比較情報が自己評価に与える影響
渡辺 絵美	若者の就業意識とフリーター問題

【2003年度】福祉社会学部卒業論文題目一覧

学生氏名	論文題目
油納もんど	重度障害者の地域支援についての一考察
相澤 悠	地域福祉権利擁護事業の考察——権利擁護における判断能力基準と自己決定のあり方——
青山 昭子	「特別支援教育」の可能性——「軽度発達障害児」の学習権保障——
朝倉麻衣子	母親たちの抱える苦悩やストレスと母親としての課題
安齊 智輝	課題遂行に対するセルフハンディキャッピングと他者存在の影響
石川 信江	信用されやすい占いとその心理的背景
磯部 優太	中国と日本における失業問題について——Life go onを目指して——
猪之奥 愛	児童虐待防止法の考察
今堀 愛美	ホームレスの自立就労支援についての考察
上村 菜子	音楽による気分の変化について——音楽が用いられる場面のラベリングの影響——
内海 智子	児童養護施設退所者に対する自立支援の現状と課題
大西 泉	知的障害者の自己決定支援——新成年後見制度と地域福祉権利擁護事業の現状と課題——
荻野 祥世	自治体行政の市民活動支援——舞鶴市を事例として——
小国さつき	恋愛関係における相補性と類似性について
越智久美子	利用者とのパートナーシップ形成におけるコミュニケーション——高齢者施設のソーシャルワーク支援方法の検討——
乙藤 俊介	自治体組織の強化と市町村合併
小野 幸美	現代青年の自殺心理——自殺予防の1アプローチとしての青年理解——
小畠 慶子	女性の顔に対するステレオタイプ——職業カテゴリーからの検討——
角田 奈都	「家庭保育」の支援と「つどいの広場」事業
川越 紀子	現代日本人におけるアイデンティティの形成——青年期までに着目して——
河村ちひろ	幸運・不運の自己認識の個人差について——日常事象のとらえ方の影響——
川邑 倫代	新型特養とこれからの施設サービス
北浦香奈子	身体障害のある人の地域生活支援としてのエンパワメント・アプローチの効果——脳性麻痺のある人の地域生活支援の事例を通して——
雲岡 美紀	「適応指導教室」の現状と課題——家庭と学校の中間的存在としての役割——
倉上 直子	個人の自立を実現するシングル化——男女共生社会システムを考える——
黒川 美穂	生業扶助改革についての一考察——わが国における就労扶助制度の確立に向けて——
桑原 建彦	児童養護施設における高校進学支援に関する現状と課題——生活の視点からの学習意欲向上を目指して——
越野 紗知	日本の労働問題からみるワークシェアリング
小林 由枝	小学校における相談員活動のあり方——心のふれあい相談員活動を通して——

学生氏名	論文題目
坂手 康人	関西文化学術研究都市と地域経済・社会——精華町の変化と問題——
坂元いつか	ノーマライゼーションの実現のために——知的障害者の地域生活支援を中心に——
澤 恵美	高齢者生活協同組合の現状と今後の役割——高齢者が主人公となった地域社会づくりを目ざして——
嶋澤 典子	高齢期の住まい——有料老人ホームの課題と可能性を考える——
白山 翔	ひとり親世帯に対する福祉支援とその課題——ジェンダーの視点からひとり親世帯を見ていく意義——
杉本あゆみ	ファミリー・サポート・センターに関する研究——地域で支えあう子育てに向けて——
杉本 雄大	高齢者の退職後の就労的生きがいづくり運動について
諏訪真由美	なぜ児童虐待は起こるのか——加害者を取り巻く要因と今後のために——
達野 優子	高齢者の医療費負担と疾病予防
田中健太郎	大学生の生活の場におけるリーダーシップの違い
田中 祥太	通行人の人だかりへの参入に対するインセンティブのあいまいさと人だかりの大きさが及ぼす影響——性格特性に基づく検討——
田中 昌宏	市町村合併を争点とした住民参加のあり方
田邊あゆみ	シャイネスと孤独感の相互関連性——自己開示能力・他者開示能力との関係——
田邊実希恵	「社会的ひきこもり」に関する一考察——人はなぜひきこもるのか——
中條 友裕	定時制高校の役割の変容と今後の展望
辻川 典文	ステレオタイプの伝達と言語——集団による話し合いの効果——
椿本 亮一	NPM導入におけるアウトカム指標の活用について
坪井 美奈	日本における難民認定制度
外山 華子	身体障害者補助犬法の意義と課題
豊谷 恵理	ソーシャルワーカー専門性向上のためのトレーニングについての検討——ラボラトリー・トレーニング導入という観点から——
中尾 一恵	生活福祉資金貸付制度の現状と課題
中澤 敦子	戦争を記憶することの政治性について——「まなざし」概念にもとづく考察——
中嶋 香織	貝塚市における女性の学習活動と「地域づくり」——公民館講座からNPO活動への道筋——
中村 仁美	母子生活支援施設のあり方についての研究——母子家庭のニーズに応えられる母子生活支援施設に向けて——
中山由香里	自閉症児の効果的な統合教育に関する一考察
仁木絵美子	診療情報の提供とその法制化に関する考察
西川 江美	不登校生徒に対する社会的偏見に関する研究
西口加奈子	子どもの食事と健康——豊かな現代における食事のあり方への言及——
西辻沙希子	年金制度に関する一考察——信頼できる年金制度の構築に向けて——

学生氏名	論文題目
西野 厚子	障害者福祉施策における地域生活支援の現状と課題
野村 大介	知的障害者の権利擁護施策について
林 真由美	ホームヘルプ事業に関する考察
早田 美紀	市町村社会福祉協議会の現状と課題
東野 真夕	「公文式」——45年の歩みとこれから——
平尾しのぶ	保育制度の「拡充」に関する一考察——東京都認証保育所制度を中心に——
平尾 達希	外来型開発から内発的発展論への模索——鳥取を手がかりに——
布野なつき	介護保険制度における自治体の役割について
細見 理恵	高齢者の在宅生活にむけての退院支援にみるMSWの機能
牧野 祐子	在宅痴呆性高齢者の生活支援のための効果的なアセスメント方法——ケアマネージャーのヒアリング調査分析を通して——
榊本 優子	女性のライフスタイル変化に対応した年金制度の構築に向けて
松田さとみ	障害者福祉施設における芸術活動について——絵画を中心に——
松永恵理子	児童養護施設におけるサービス評価活動の検討——第三者評価と当事者評価——
松本 祥子	高校生の自我同一性に関する研究——進路選択の視点から——
向井 美貴	障害児家族に対する相談支援の意義——障害児施設職員による家族への心理的サポートの重要性——
六車 浩二	たばこの社会問題化について
武藤 篤史	農産物直売所の役割
村上あした	国際刑事裁判所の意義と課題——非人道的行為の連鎖を断ち切る可能性を問う——
室崎 友輔	トランスミュージックが心理時間に与える影響——音響刺激と神経生理的興奮——
本島 優子	親の発達期待に関する研究——親の叱る行為と子どもの行動実現との関連で——
山内 翠	児童虐待防止地域ネットワークの現状と課題に関する一考察
山下 りか	動物飼育と子どもの発達——子どもの心身の健康を育む動物飼育とは——
山本 亮	ギャンブルの社会病理学的研究
吉賀美貴子	虐待と虐待が及ぼす影響についての一考察
吉田 佳代	外見の好ましさと信頼性判断との関係性——囚人のジレンマゲームを用いて——
吉田 美穂	第2次世界大戦後の混血児対策——澤田美喜の活動を通して——